

No.6

韓国の文化に触れながら、韓国語の聞き取り練習をする授業です。中国やベトナムから来た留学生たちといっしょに聞き取り練習だけでなく、韓国語を話す練習もします。今月は、韓国のショッピングや食文化について学びました。

Ⅲ. 生活編

◆出国前の準備

留学準備が本格的に始まったのは留学先から出される入学許可証が発行されてからでした。釜山外国語大学校の場合、出発する1ヶ月前に発行されたため、地方出身の私は地元の大統領にビザ申請に行かなくてはならず、申請書類も多かったため大変でした。それと同時にカカオトークでこちらの大学の国際交流担当の方と連絡がとれるようになり、事前に履修登録や到着後のピックアップなども相談することができました。

◆到着後の生活

空港に着くと釜山外国語大学校の学生が留学生たちを出迎えてくれて、みんなでバスに乗って学校まで移動しました。寮に着いてすぐに入寮手続きを行い、布団や日用品の買い出しを終えるとあっという間に授業が始まりました。私はキャンパス外の寮に住んでいるので、学校までは毎回学校から出ている無料のシャトルバスに乗って行きます。

◆学校生活

私は英語学部で留学しているためネイティブの先生が行う英語の授業がメインですが、韓国語の授業も履修することができました。授業では韓国人の学生だけでなく中国やタイ、ベトナムから来た留学生も多くいるため、さまざまな国の友達ことができました。私が履修しているタンデムの授業でパートナーになった韓国人の友達に誘われ、日本語学部のサークルに入りました。そのため、サークルでの食事会や飲み会に参加する機会も多くあり、日本語学部の友達もたくさんできました。月末には日本語学部のMTで蔚山に行き、夜遅くまで韓国の学生たちと楽しく交流できました。普段の週末は、サークルで仲良くなった友達に釜山観光に連れて行ってもらったり、近くの繁華街でカラオケに行ったり充実した日々を送っています。

No.5

韓国語の文法を学びながら、ペアやグループになって韓国語の会話の練習をする授業です。中国やベトナムから来た留学生も多いので、いろんな国の人と韓国語を学ぶことができます。今月は韓国の生活や食文化について勉強し、中間試験では自分の好きな料理を韓国語で紹介するプレゼンをしました。

No.6

韓国の文化に触れながら、韓国語の聞き取り練習をする授業です。中国やベトナムから来た留学生たちとひとっしょに聞き取り練習だけでなく、韓国語を話す練習もします。今月は趣味や電話、運動について学びました。

III. 生活編

◆学校生活

お互いの母国語を教え合いながら学習するタンデム授業のメインである体験学習で、パートナーと事前に話し合い、パートナーの地元に近い大邱へ行きました。釜山から1時間半バスに乗り、大邱の観光地や遊園地を巡りました。日帰りの弾丸ツアーだったので、朝から晩まで楽しむことができ、とても貴重な体験になりました。

今月下旬ごろ、初めての中間試験がありました。英語の授業では筆記試験とスピーキングテスト、韓国語の授業では筆記試験とプレゼン発表がありました。それぞれ試験に向けて勉強したり準備するものがたくさんあったので、次の期末からはもっと計画的に早いうちから試験勉強に取りかかろうと思いました。

◆寮生活

今月中旬ごろからルームメイトが急遽変わり、1つ下の韓国人の学生とルームシェアをすることになりました。最初はどんなルームメイトがやって来るのかすごく緊張していましたが、元々寮内で話したことがある顔見知りの子だったので、予想より早く打ち解けることができました。

◆日常生活

今月の初めごろは韓国でも桜がとてもきれいに咲いていたため、友達に釜山観光も兼ねて桜の名所にドライブに連れて行ってもらったり、私が入ったサークルと他のサークルの合同で韓国や日本のゲームをして遊びました。また学校の行事では韓国の文化祭りや留学生運動会などのイベントにも参加し、留学生と触れ合う機会が多くありました。他にも、みんなで友達の誕生日を祝ったり、試験期間中にはピザやチキンの配達を頼んで美味しいものを食べながら友達とひとっしょに勉強したりしました。

No.5

韓国語の文法を学びながら、ペアやグループになって韓国語の会話の練習をする授業です。中国やベトナムから来た留学生も多いので、いろんな国の人と韓国語を学ぶことができます。今月は韓国の旅行や経験について勉強しました。

No.6

韓国の文化に触れながら、韓国語の聞き取り練習をする授業です。中国やベトナムから来た留学生たちと一っしょに聞き取り練習だけでなく、韓国語を話す練習もします。今月は旅行や家事、流行や情報について学びました。

III. 生活編

◆学校生活

お互いの母国語を教え合いながら学習するタンデム授業のメインである体験学習で、パートナーと事前に話し合い、釜山で有名なチャカルチ市場に行きました。チャカルチ市場は1階にある魚市場で魚を選び、2階の食堂で選んだ魚を刺身や焼き魚に調理してもらえると聞いたので、以前からとても行きたいと思っていました。実際に行ってその場で選んだ魚を食べてみると、本当に新鮮で美味しく、量も2人分にしては多かったのでお腹いっぱい食べることができました。

今月下旬に、釜山外大の文化祭が3日間行われました。キャンパスの上にある駐車場に大きなステージや学科ごとに屋台ブースを作って食事ができるようになっていました。またラッパーやアーティストがゲスト講演をしたり、EDMパーティーなどのイベントがあり、夜まで盛り上がっていました。

◆寮生活

ルームメイトとは、お互い予定がなければ週末に買い物やカラオケに行ったり、授業が終わって一緒に夜ご飯を食べる機会が多くなりました。部屋にいる時も、夜遅くまで女子トークで盛り上がったり、一緒に好きなテレビ番組を見たり、有意義な時間を過ごしています。私の下手な韓国語も一生懸命理解しようとしてくれて、韓国での生活の中で私がいけないことなども教えてくれて、ルームメイトにはたくさん助けてもらっています。

◆日常生活

ゴールデンウィークを利用して日本から友達が遊びに来てくれたので、簡単に釜山観光や学校案内をし、夜は外大の友達も誘って一緒にご飯を食べたり、ボーリングをしたりしました。普段の週末は、釜山の観光地として有名な甘川文化村に行ったり、友達の誕生日会を開いて一緒に祝ったりしました。

サークルの活動では、慶州にある慶州ワールドという遊園地に行つて丸1日遊びました。慶州ワールドは韓国一怖い絶叫アトラクションがあることで有名なので、絶叫アトラクションが苦手な私にとっては少し不安でしたが、久しぶりにはしゃぎながら楽しむことができました。他の日本語学科のサークルでは、授業終わりに歌の講演や演劇があったので見に行きました。日本語の歌を歌ったり、日本のお笑い芸人のコントを披露したり、とても完成度が高い講演ばかりで驚きました。

日本にいる母から初めてEMSで荷物を送っていただきました。母が地元の郵便局に荷物を出しに行った際、中身は何が入っているのか、いくらぐらいの価値があるのかを事前に英語でリストアップしなければならなかったようです。荷物が大きかったこともあり、予想以上に送料がかかったそうですが、約1週間ほどで無事に寮まで届きました。追跡番号を控えておけば、日本と韓国の郵便局のHPで荷物の追跡ができたので、便利でした。

No.5

韓国語の文法を学びながら、ペアやグループになって韓国語の会話の練習をする授業です。中国やベトナムから来た留学生も多いので、いろんな国の人と韓国語を学ぶことができます。今月は健康やショッピングについて勉強し、期末試験では自分が記憶に一番残っている旅行を韓国語で紹介するプレゼンをしました。

No.6

韓国の文化に触れながら、韓国語の聞き取り練習をする授業です。中国やベトナムから来た留学生たちとひとっしょに聞き取り練習だけでなく、韓国語を話す練習もします。今月は情報や韓国の大衆文化について学びました。今月中旬に期末試験として、筆記テストがありました。

III. 生活編

◆学校生活

今月上旬に学科やサークルごとに終講総会があり、みんなで集まってご飯を食べました。今学期中にみんなが集まれる最後の機会だったので、サークルの友達や日本語学科の学生とたくさん交流することができ、とても楽しい時間を過ごしました。

お互い学校生活を教え合いながら学習するタンデム授業の中で前回、ペアごとに体験学習について発表した際、先生方からクラス内で一番良かった体験学習発表として私たちのペアを選んでいただき、釜山外国語大学 全体のタンデム活動報告会に参加させていただきました。何人かの審査員の先生方に評価していただく発表会なので、体験学習の他にも、普段の授業の活動内容や、タンデム授業を通して自分たちが感じたことなどをパワーポイントにまとめて韓国語で細かく発表しました。私は今までの留学生活の中で、公の場で韓国語を使って発表する機会がなかったので、今までにないぐらい緊張していました。残念ながら入賞はできませんでしたが、他の韓国の大学生たちが行うプレゼン発表中の緊張感やパワーポイントの完成度などを目の当たりにし、自分の韓国語の勉強の刺激にもなったので、とても良い経験になりました。

今月中旬には初めての期末試験がありました。英語の授業では筆記テストとスピーキングテスト、韓国語の授業では筆記試験とプレゼン発表がありました。試験勉強や発表準備に追われる日々に追われ、あっという間に1学期を終えました。来学期からは夏休みの内から自分の取りたい授業を把握し、自分で時間割登録を行わなければならないので、2学期の準備も徐々にしていきたいです。

◆寮生活

授業終わりにルームメイトと夜ご飯を食べに行ったり、週末は部屋でそれぞれ勉強したり、今月もひとっしょに過ごす時間が多くありました。私が試験や発表の準備を進めていく中で分からないことや直した方がいい韓国語の表現などを教えてもらい、勉強を手伝ってもらいました。郊外寮では終講した途端に、実家に帰る人や退寮する人の荷物の出し入れなどでドタバタしていましたが、夏休みに入ると寮を出る人が多いため、一気に寮の中が静かになりました。各部屋ごとに除菌掃除なども行われ、来学期に向けての寮の入れ替わり準備が始まっているようです。私も来学期の寮申請も済んだので、荷物の移動準備を少しずつ進めて行くつもりです。

◆日常生活

学校の留学生の行事として、休日に慶州の文化学習に行きました。韓国の文化村やテディベア博物館、慶州国立博物館に行って韓国の歴史背景などを学ぶことができました。参加者は全員留学生だったので、いろいろな国の留学生と交流しながら韓国文化を勉強できておもしろかったです。

普段の休日は、近くの繁華街に行って映画を見たり、ショッピングをしたり、友達の誕生日に誕生会を開いたりしました。試験期間中はみんなで勉強会をして、日本語や韓国語を教え合いました。また今学期初めて、日本人留学生で食事をする懇親会がありました。留学生活を終えて日本に帰国する子や来学期もまたひとっしょに勉強していく先輩、後輩、そして同期の子が集まる機会は今までなかったので、それぞれの留学生活の話聞くことができ、楽しかったです。

No. 6

日本留学生2人と韓国人の生徒3人が1グループになって、お互いに言語を教え合う授業です。毎回お互いの文化の知りたいトピックを決めて、言語交換をしながら学習します。またお互いの国の遊びなども紹介しながら仲良くなることができます。

Ⅲ. 生活編

◆学校生活

9月に入ってからすぐ授業が始まり、登録した授業に参加しながらいくつか登録変更をしました。今回もネイティブの先生が行う英語の授業と、中国やベトナム、ロシアなど各国から来た留学生たちと一緒に受ける韓国語の授業も履修しました。前学期と内容の違う授業もあるため、授業についていけるように頑張りたいです。

また日本人留学生のK-POPカバーダンスグループに参加して、留学生新入生歓迎会の場でTWICEのダンスを披露しました。練習時間が限られている中でなんとかみんなで完成させることができ、本番のパフォーマンスも楽しめたので良い経験になりました。今学期も日本語学科のサークルに所属し、みんなでご飯を食べに行き韓国語の学生たちと楽しく交流しました。

◆寮生活

今学期は校内寮で生活しているため、校外寮からシャトルバスで通学していた前学期より通学時間もかからず、ずいぶん楽に通学できるようになりました。また地下に食堂もあるため、朝昼夜はあたたかいご飯を食べることができます。食堂以外にもコンビニもあり、食堂の運営時間以外でもご飯を食べることができます。洗濯室やジムの利用方法は校外寮とほぼ同じです。そして、今学期からまた新しいルームメイトとの生活が始まりました。今学期から編入された日本人の1つ上の先輩とルームシェアしていますが、今のところ問題なく生活しています。校外寮より校内寮の方が大きく、男子学生も住んでいて人数も多いため、友達に遭遇することが多々あります。みんなで集まってチキンやピザを注文したり、1階ロビーに集まってゆっくり話をしたりもできるので、前学期より友達と交流する時間が増えました。ちなみに今月はチュソクがあったため、食堂費も含めた寮費の支払いは今月の3週目頃にありました。

◆日常生活

今月の2週目にチュソクがありました。日本でいうお盆にあたるものですが、豊作に感謝する休日だそうです。韓国では旧正月と同じくらい大事にされている休日で、親戚一同が故郷に集まってお墓参りをしたり、いっしょにご飯を食べたりします。そのため、大きいデパートやスーパー以外のお店はほとんど閉まっており、寮の食堂も閉まっていた。私は韓国人の友達の家を招待してもらい、友達のご家族の方たちといっしょに夕食を食べました。私も外国人なので、チュソクを体験するのは初めてで何をしたらいいのか分からなかったけど、寮でチュソクの時に食べるソンプジョンも配られて、チュソクの気分を味わうことができました。週末は、友達といっしょにオシャレなカフェに行ったり、期間限定のアートミュージアムやボードゲームカフェに行きました。また友達の誕生日をみんなで祝いしたりもしました。

No. 6

日本留学生2人と韓国人の生徒2人が1グループになって、お互いに言語を教え合う授業です。毎回お互いの文化の知りたいトピックを決めて、言語交換をしながら文化の違いをいっしょに学習します。またお互いの国の遊びなども紹介しながら仲良くなることが出来ます。

III. 生活編

◆学校生活

釜山外大から留学生を対象に、BOFという釜山で行われるK-POPコンサートのチケット販売がありました。実際に当日、チケットを購入した留学生たちが学校に集まって、会場までシャトルバスでいっしょに向かいました。夕方5時ごろにコンサートに会場入りし、7時から開演でした。あんなに目の前でたくさんのK-POPアーティストを見るのは初めてだったので、とても貴重な体験になりました。

10月後半ごろに中間テストがありました。今回も筆記テストとプレゼン発表、そしてエッセイの提出があり、テストに向けて準備することが前学期より多かったです。期末テストも気を引き締めて早めに準備することを心掛けたいです。

中間テストが終わってすぐサークルのMTに参加しました。みんなで海の近くのペンションを借りて、バーベキューをしたり、部屋でレクリエーションゲームをしたりしました。そのあとは少しだけお酒も飲みながらトランプをしたり、夜通し話したり、なかなか集まらないサークルの友達と楽しい時間を過ごしました。

10月最終日は、学校で行われたハロウィンパーティーに参加しました。顔にジャコランタンのペイントを描いてもらったり、みんなでEDMパーティーで盛り上がり、最後はピザやお菓子を食べながら、みんなで写真を撮り合ったりしました。いろいろな国から来た大勢の留学生たちといっしょにハロウィンを楽しめて、日本とは違った外国のハロウィンパーティーの雰囲気を味わえました。

◆寮生活

釜山もだいぶ冷え込んできて、特に釜山外大のキャンパスは山奥にあるため、夜の冷え込み方が日本とは違う気がします。そのため、うちの寮では廊下にヨーグルトや果物などの食料を置いて冷蔵庫代わりに利用する人もだんだん増えてきました。

今月下旬に、私のルームメイトが韓国の携帯番号を作ったので、さっそくチキンの出前を注文していっしょに食べました。韓国では電話番号があれば配達アプリで誰でも何でも簡単に前出を注文できるので、とても便利で助かります。

◆日常生活

今月は大きい台風が釜山に直撃したこともあり、温度差が激しく、私も初めて韓国で風邪をひきました。鼻水とのどの乾燥がひどく、完治するまでに10日ほどかかりましたが、韓国ののど飴がすごく効いたこともあり、日本から持って来た風邪薬もいっしょに飲みながらなんとか治すことができました。

仁川大学に留学中の友達が釜山にまた遊びに来てくれました。ほぼ丸1日だけの滞在でしたが、お互いの行きかかったカフェやご飯屋さんに行くことができ、有意義な時間を過ごすことができました。

前学期にいっしょに生活していたルームメイトと今でも仲が良く、同じ寮に住んでいるので、週に1度はご飯を食べに行ったり、寮のロビーで夜に話し込んだりすることもあります。この前、私が好きな日本のラーメン屋さんを紹介してあげたら、すごく気に入って喜んでくれたので、日本人として私も嬉しかったです。

ハロウィン前日に友達の家を集まって、それぞれハロウィンメイクをしたりお菓子を持ち寄って、お菓子パーティーをしました。日本より、韓国の方がハロウィンを楽しむ人が多いことに正直びっくりしましたが、いっしょに楽しめてよかったです。

No. 6

日本留学生2人と韓国人の生徒3人が1グループになって、お互いに言語を教え合う授業です。毎回お互いの文化の知りたいトピックを決めて、言語交換をしながら学習します。またお互いの国の遊びなども紹介しながら仲良くなることができます。

III. 生活編

◆学校生活

今月中旬、こっちに来てはじめてTOPIKの試験を受けました。幸い試験会場は釜山外大だったので、スムーズに試験教室に入ることができました。12時半頃に入室し、試験が終わったのは16時半頃でしたが、試験前に監督者に預けなければならないはずの携帯電話を所持したまま試験を受けた生徒が他の試験教室にいたため、最後に全員荷物検査が行われました。荷物検査が終わるまで待機しなければならず、結局教室を出るころには17時になっていました。こんなに長丁場の試験を受けたのは私も初めてだったので、体力的にも疲れが出て、勉強した成果を発揮できず自信もあまりないですが、自分の留学生活で学んだ韓国語の実力を測る良い機会になったと思います。

今月下旬、『日本語学科の夜』という日本語学科主催のイベントに参加しました。このイベントは日本語学科のサークルがこの日のためにさまざまなパフォーマンスを準備してそれぞれステージで披露するイベントです。私も日本人留学生のK-POPカバーダンスグループとして参加しました。約1ヶ月間、グループのメンバーと時間を合わせながら練習をし、TWICEとH.O.Tの2曲を披露しました。私たちはプログラムの最後のトリだったので、少しプレッシャーがありましたが、思った以上に会場が盛り上がり、緊張もなく楽しみながらパフォーマンスすることができました。そのあと打ち上げもあり、みんなとサムギョプサルを食べながらゆっくり話ができ良かったです。

◆寮生活

毎月、月の初めに行われる点呼や掃除点検も残すところあと1回となりました。

荷物の整理も徐々に進めなければならないので、船便で夏服や前学期の教科書などを段ボールにまとめて送りました。初めて船便で送ったので、テーピング補強もあまりせず送ってしまいましたが、荷物到着後、実際に届いた段ボールを見た母から、私の補強が弱かったため、業者の方がテープをグルグル巻きにしてくれたみたいだと連絡が来ました。ちなみに、船便で釜山から実家の広島までは3週間ぐらいで届いたようです。また退寮日までに時間を見つけて、少しずつ荷物整理をしていきたいと思います。

また、今月中旬ごろからひんやりした冷たい風が吹き、急激に寒くなりました。校内寮と学校の行き来だけでもちゃんと着こまないと凍えるほどで、日本から持って来たアウターでは太刀打ちできなくなりました。そこで韓国でよく売られているペディンというジャンパーを買いましたが、日本のアウターよりしっかりしていて山奥にある釜山外大でも生き延びることができそうなジャンパーなので、外出の際は必ずそれを着るようになりました。

◆日常生活

今月初旬、広安里の海水浴場で毎年100万人以上の観客が訪れる大きな花火大会があり、友達数人と一緒に見に行きました。私も秋の海で行われる花火大会は初めてだったので、前日から大きめのレジャーシートを買ったり、防寒対策としてブランケットを準備したりしました。当日、20時から打ち上げられる花火をいい場所で見れるよう、14時頃に会場について場所取りをしました。みんなで手分けしてなんとかいい場所をおさえることができ、夕方頃から夜ご飯の調達準備をしました。日が暮れるにつれ、人が多くなっていくので、絶対一人行動はしないよう、最低でも2人1組になって行動しました。みんなで分担して飲み物やお菓子、チキンやピザを買って待機しました。花火が上がる1時間前ぐらいにトイレに行くため、友達3人で大通りに出ると、本当に自分の力じゃ歩けないぐらいの人混みで、ただ立っているだけでも人の波にのまれてしまうほどでした。友達とはぐれないように手を掴みながら歩かないと前に進めない状況で、初めて人の多さに恐怖を感じました。でも自分たちの場所に戻り、20時からショーが始まると、その恐怖も一瞬で忘れてしまうほどのキレイな花火が大量に上がり、感動的な1時間のショーを楽しく見ることができました。

今月の後半は、日本から友達が3組ほど釜山に遊びに来てくれました。中旬に大学の友達2人が来てくれて、夜ご飯で釜山名物のナッコプセという、タコ、ホルモン、エビが入った料理を食べました。そのあといっしょにホテルに泊まってチキンやアイス

食べながら、話しが尽きず、朝まで楽しく話しました。

次に夏休みに語学堂プログラムで、ルームメイトとして3週間いっしょに過ごした友達が遊びに来てくれました。ナンボドンやソミョンでご飯を食べたり、買い物をしたりしながら、いっしょに充実した1日を過ごせました。

最後は、小中学校から知っている幼馴染3人が遊びに来てくれました。みんな韓国に来るのも初めてで、韓国語も一切分からないので、私がほぼ2日間ガイドとしていっしょに観光地を回りました。みんなで会ってゆっくり話すのは中学生ぶりだったので最初は緊張しましたが、夜ご飯にサムギョプサルを食べながら、昔話で盛り上がりました。次の日は甘川文化村に行ったり、チャガルチ市場を見学したり、国際市場で食べ歩きをしたり、釜山の有名な観光地を歩き回りました。昔から知っている友達と釜山を観光するのは少し不思議な気分で、みんな初めての韓国旅行で少し不安だったけど、2日間すごく楽しかったと言ってくれて、私もとても嬉しかったです。

今月最終日は私の誕生日で、たくさんの友達がお祝いのメッセージをくれたり、プレゼントもくれてすごくありがたかったです。普段から仲のいい友達とたまたま誕生日が近かったので、いっしょにケーキを買ってお祝いしながら食べました。

No.6

日本留学生2人と韓国人の生徒3人が1グループになって、お互いに言語を教え合う授業です。毎回お互いの文化の知りたいトピックを決めて、言語交換をしながら学習します。またお互いの国の遊びなども紹介しながら仲良くなることができます。

III. 生活編

◆学校生活

12月に入り、各授業で期末テストに向けて試験内容が発表されました。今回は筆記テスト、1対1またはグループのスピーキングテスト、そしてエッセイ提出がありました。中間テスト同様、準備するものが前学期より多く感じましたが、幸い、私のとっている授業の試験日のスケジュールがバラバラだったため、なんとか準備時間をそれぞれ確保することができました。また、前のルームメイトが一人暮らしを始めたため、初訪問がてら、夜食にチキンを一緒に食べて、朝方まで睡魔と闘いながら試験勉強しました。

期末テストが終わり、交換留学生の修了式が行われ、一人一人が修了証を受け取りました。そのあとすぐ留学生対象のクリスマスパーティーが開かれ、みんなでゲームをしたり、ピザを食べたり、出会った留学生たちと最後のお別れを惜しみながら、いっしょに写真を撮り合いました。

今学期も国際交流センター主催の日本人留学生の懇親会がありました。同世代の日本人数名が集まり、今回は日本語学科の先生にも来ていただき、中華料理のお店で楽しく話しながら、ジャージャー麺とタンスユクをごちそうになりました。なかなか日本人が大勢で集まる機会もないので、とても新鮮な気持ちでした。

◆寮生活

4ヶ月いっしょに過ごした日本人のルームメイトも来学期から一人暮らしを始めるそうで、今月でお別れでした。今まで当たり前のようがいっしょに過ごしてきたので、先にルームメイトが退寮した時は少し寂しい気持ちになりました。また、3月から来た交換留学生の同期の中で私が最後に帰国する日本人だったため、寮の前で一人ずつお見送りする度、切ない気持ちでした。

私は元々4ヶ月契約で寮申請をしていましたが、学期が終わってからもう1週間ほど寮に滞在したかったため、長期休みに入る前に寮の行政室に行って、別で残留申請をしました。正式には、学期が終わった週末が退寮日として設けられており、ほとんどの学生はその日までに荷物を整理して、家族に車で取りに来てもらったり、留学生は国際郵送したり、寮の中は段ボールでいっぱいでした。私も整理しながら、来た時より格段に荷物が増えていることに気づき、段ボール合計5箱 普通空便とEMSで実家に送りました。まだ使える余った洗剤やシャンプー、トイレトーパーや洗濯台などの日用品はすべて一人暮らしをしている友達が快く引き取ってくれました。

荷物整理を全部終えて、行政室で退寮手続きの書類を書き、行政室の方に洗面所や部屋の掃除を全部チェックしてもらい、ルームキーと食堂を利用する際に使っていた食券カードを返却し、最後に保証金として先に支払った1万円を返してもらって退寮手続きは完了です。だいたい15分ほどで手続きは終わりますが、帰国直前に退寮する際は、時間に余裕をもって手続きした方が良さそうでした。

◆日常生活

バタバタと11月が終わってしまったため、12月に入ってから同期の日本人の友達が先月の私の誕生日をサプライズで後から祝ってくれました。私も初めてのサプライズに全く気づかず、本当にびっくりしましたが、みんなが頑張って準備してくれていたのを知ってとても嬉しかったです。12月中旬にも友達の誕生日があったため、今回はカフェで誕生日をお祝いしました。同期のみんなが集まれるのはこの日が最後だったため、今までの10ヶ月間の留学生生活を振り返りながら、またみんなで釜山で集合しようと話しました。

学期が終わって1週間、今までお世話になった友達といろんなところに遊びに行きました。クリスマスには、私が中学生の時にアメリカで出会ったホストファミリーと7年ぶりに釜山で再会しました。私と同年のホストシスターも私も、出会った当時は韓国に全く興味はありませんでしたが、久しぶりにSNSで連絡を取ると、お互い同じ時期に偶然、韓国に滞在していることが分かり、釜山にホストシスターとホストマザーが遊びに来てくれました。ホストシスターとは英語だけでなく韓国語でも会話ができ、

7年前には考えられない状況だったのでとても不思議な気持ちでしたが、本当に嬉しい再会ができました。

帰国直前、4月に契約した携帯電話を解約しに最寄りの駅の近くにある携帯ショップに行きました。解約手続きは少し時間がかかるようで、身分証明書の提示や韓国の銀行口座の確認もあり、だいたい20分程度かかりました。ところが最後の銀行口座の確認がお店のコンピューターのシステムエラーで上手くいかず、空港の同じ会社のカウンターがあるから、そこで解約してくれと店員さんに言われました。少し時間に余裕をもって空港に向かい、携帯ショップのカウンターに行くと、その店員さんに、ここでは解約手続きは直接できないため、自分で携帯会社のコールセンターに電話して解約手続きをするしかないと言われました。私は電話を通しての韓国語の会話には慣れていないため、うまく会話できる自信がありませんでしたが、店員さんにコールセンターにつなげてもらいました。本人確認や解約金の決済処理などを電話を通して行う中で、会話があまりスムーズにいかず、コールセンターの方を怒らせてしまう場面もありましたが、何とかその場で解約手続きを完了することができました。最後に、自分の韓国語の理解不足で手間をとらせてしまい、申し訳なかったとコールセンターの方に謝ると、向こうの方も、大丈夫ですよと明るく返事してくださいました。携帯の解約手続きは、特にどんな問題が起きるかわからないので、帰国直前ではなく、帰国前日までの時間に余裕がある時に携帯ショップを直接訪ずれて手続きをするべきだと思います。

10ヶ月間は毎日が新しく、予想外なことだらけでしたが、私にとって釜山外国語大学での留学生活はこれまでの学生生活で一番充実した幸せな日々でした。そう思えるのも、この10ヶ月間で出会ったたくさんの方々に支えていただいたおかげだと思います。正直、政治的な問題で日本人として釜山で生活していけるのか、一時は私も不安に思ったり、日本から両親や友人からの心配の声も届きました。でも釜山で10ヶ月間生活する中で、私は政治的な問題で怖い思いをすることもなく、むしろ釜山の方たちが快く日本人留学生や日本人旅行客を出迎えてくれる場面を何度も目にしました。そんな寛大な心を持った釜山の方々に私もいつか恩返ししたいと思っています。10ヶ月間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。